

研究所だより

榎本 木綿

高松での協同集会も無事終わり、気がつくともう年の瀬が迫っております。協同総研の活動を通じて、今年もたくさんの方々との出会いに恵まれた一年となりました。同時に、なかなか思うような研究活動を生み出せず、歯がゆい思いの年でもありました。

振り返ると一昨年の年明けから総研スタッフの人員不足が続きましたが、その間いろいろな方に助けていただきました。若者自立塾の職場体験で総研に来てくれた卒業生の工藤さん（現在は労協本部の仲間として活躍中！）やドイツでの農業研修を終えて帰国し、労協に復帰した元総研の青木さんを始め、たくさんの方に助けられた

ことが思い返され、感謝の想いでいっぱいです。

こうしたなか今回新しく、細越雄二さんというとても心強い仲間を迎えることとなりました。来年は総研二十周年の節目の年でもあり、また2012年の国際協同組合年に向けた取組みも念頭に置いて、皆で協力し合い、「協同労働の協同組合」法制化の実現と研究活動を進めていきたいと思います。

会員の皆さまにもぜひ協同総研の研究活動へのご参加をお願い申し上げます。それでは皆さま、どうぞ良いお年をお迎えください。来年もよろしくお祈りします！

ごあいさつ

細越 雄二



12月1日付けで協同総合研究所に入所・配属になりました細越雄二と申します。

去る12月3日から5日にかけて行われた、全国代表者会議、反失業・仕事おこし大集会、日本社会連帯機構設立記念総会の裏方として、資料セット、資料配布、会場設営、会場案内等をみんなで分担して行ったのが最初の仕事となりました。

この仕事の合間を縫って会合を聞きましたが、いずれの会合も全国から大勢の方々が参加され、現場の取り組みが報告される

など熱気に満ちていて師走の寒さも吹き飛んだかのようなようでした。特に、反失業・仕事おこし大集会では、現在の厳しい経済状況のもとで懸命に働き、日々の暮らしを送っている人たちが、雇われなくとも生きていける方法を選択することができる「協同労働の協同組合」法の一日も早い制定を心から待ち望んでいることを改めて知ることができました。

私はこれまで厚生労働省で主に労働統計・労災保険の分野に携わってまいりました。霞が関にいたときに関わる機会が比較的少なかった、障害者や外国人の就労対策、労働分野の国際協力に今は強い関心を持つ

ております。この協同総合研究所では、現場で様々な就労支援に取り組んでおられる各地域の方々のお話をよく聞き、その活動を支援することで協同労働を広げていくことや、「協同労働の協同組合」法の制定に向けて尽力したいと考えております。さらには、ディーセント・ワークの実現、働く意思のある人誰もが働く喜びを実感できる社会を実現したいと思っております。そのためには、共同労働の協同組合の果たす役割が非常に大きいと思っております。2012年は国連の定める国際協同組合年ということで、協同組合の国際的な連携についても積極的に取り組み、協同組合の直面する課題について各国

の協同組合と協力しながら解決できるよう尽力したいと思っております。

入所日当日まで知らなかったのですが、私のほかに三人が同じ日にセンター事業団本部の仲間となりました。ある意味で「同期」といえます。個人のライフステージには様々な同期がいることと思います。同期という横のつながりも大事にしていきたいと考えています。

今後とも、協同総合研究所の皆様を始め、多くの方々にご指導をいただきながら職務に励んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

研究所活動日誌

- | | | |
|---------------|--|--|
| 11/01(月) | 高崎経済大学学生来所／第1回
障害者就労研究委員会(田中(夏)
理事、田嶋) | 委員会、ワーカーズコープ若桜町
ゆいまある訪問調査(田嶋、小橋) |
| 11/02(火) | 情報企画政策会議／若者サポート
ステーション調査訪問(新宿：走
井氏、大高氏、田嶋) | 11/10(水) 協同集会徳島実行委員会(青木) |
| 11/04(木) | 協同集会実行委員会 in 高松 | 11/12(金) 協同集会準備(高松) |
| 11/05(金) | 協同集会高松市役所行動(田嶋、
榎本、青木)、協同集会愛媛実行
委員会(榎本、青木) | 11/13-14(土-日) 全国協同集会 in 四国(香
川県高松市) |
| 11/06(土) | 広島協同ネット会議(田嶋)／協同
集会行動(徳島：青木)、協同集会
行動(松山：大津、榎本) | 11/15(月) 協同集会行動(徳島：青木、愛媛：
榎本) |
| 11/08(月) | 協同総研事務局会議、協同総研定
款作成プロジェクト会議(池袋本部) | 11/16(火) 日野秀逸先生(医療福祉生協連副
会長)訪問(岡安、田嶋) |
| 11/09-10(火-水) | NPO新田むらづくり運営 | 11/18(木) 尾関周二先生(東京農工大学)訪問
(古谷、田嶋) |
| | | 11/19(金) 労協連障害者就労支援プロジェク
ト(田嶋) |
| | | 11/20-24(土-水) 日韓社会的企業セミナー
(大阪：田嶋) |

■ 研究所活動日誌/今後の予定

- | | |
|---|---|
| 11/24 (水) 「新しい公共と指定管理者制度の
整合を問う」集会(横浜泉区:田嶋、
榎本) | 氏、松本氏) |
| 11/25 (木) 農山村共同研究事務局会議(労協
連本部:朝岡氏、島田、古谷、小
橋、田嶋、榎本)／農都ネットサ
ロン(蔦谷氏、管、榎本)／協同組
合学会編集打合せ(田嶋) | 11/27(土) 本部田んぼプロジェクト(青木) |
| 11/26 (金) 「協同の発見」誌編集委員会(大高 | 11/28(日) 労協連「食農環境・産消連帯推進
会議」(青木、榎本) |
| | 11/29(月) 明治大学「協同組合マネジメント
論」講義(朝岡氏、古村)／労協連・
情報政策企画会議 |
| | 11/30(火) 農山村協同研究事務局会議、竹下
氏(自治体問題研究所)来所 |

今後の予定

- | | |
|---|---|
| 12/01 (水) 細越雄二さん入団 | 農山村共同研究会議 |
| 12/02 (木) 蔦谷栄一氏訪問(農林中金総合研
究所:島田、古谷、田嶋、榎本) | 12/18 (土) 新しい公共と市民自治研究会(埼玉
県勤労者福祉センター:長友祐三氏) |
| 12/03-04 (金-土) センター事業団代表者会
議／12・3反失業・仕事おこし大
集会 in 豊島公会堂 | 12/24 (金) 労協連・情報政策企画会議 |
| 12/05 (日) 日本社会連帯機構設立記念総会 | 12/28 (火) 仕事納め |
| 12/06 (月) 明治大学「協同組合マネジメント
論」講義(朝岡氏、山崎、安、田嶋) | |
| 12/07 (火) 杉村宏先生(法政大学)訪問 | |
| 12/08 (水) 協同総研事務局会議 | |
| 12/10 (金) 協同総研上半期監査、センター事
業団組合員アンケート打合せ | |
| 12/11 (土) 第2回協同総研理事会 | |
| 12/13 (月) 明治大学「協同組合マネジメント
論」講義 | |
| 12/16 (水) 協同集会徳島実行委員会 | |
| 12/17 (金) 東京農工大学との共同研究会議／ | |

2011年

- | |
|--|
| 01/05 (水) 仕事始め |
| 01/08 (土) 広島協同ネット発会式 |
| 01/12 (水) 新潟協同ネット会議 |
| 01/17 (月) 協同総研定款作成プロジェクト会
議 |
| 01/25 (火) 全国協同集会実行委員会(高松) |
| 01/26 (水) 労協連障害者就労支援プロジェク
ト会議 |
| 01/28 (金) 「協同の発見」誌編集委員会、協
同労働ディスカッション |
| 01/29 (土) 農山村再生研究会 |

財団法人こども未来財団 子育て支援者向け研修事業(大規模研修会)

子育てフォーラム～困難を絆に～ 「地域の再生・子育ての 社会化を考える」

参加費無料

2月5日記念講演
大田 堯 先生
元日本教育学会会長

映画上映
「月明かりの下で」
2010年文化庁映画賞
受賞作品

2月5日・6日
パネラー他
市原悟子 園長
アトム共同保育園

2月6日総括講演
汐見稔幸 先生
白梅学園大学学長

NPO 法人ワーカーズコープとは…
働く者、市民がみんなで出資し、経営し
働く協同労働の協同組合です。全国で
100 か所を超える子育て支援の拠点を
中心に、子育てのコミュニティケア(街づく
り)を広げています。

—開催趣旨—
子育てをめぐる貧困・
虐待・孤立が深刻化し
ています。
国主導でも市場に任
せる子育てでもない、地
域や市民が主人公にな
る「子育ての社会化」を
今こそ真剣に考える時
ではないでしょうか。

2011年2月5日(全電通ホール) 千代田区神田駿河台3-6
6日(東京家政大学三木ホール) 板橋区加賀1-18-1

問い合わせ先 NPO 法人ワーカーズコープ 子育て事業部 担当：中村
東京都豊島区池袋3-1-2 光文社ビル6階 ☎03-6907-8035

主催：NPO 法人ワーカーズコープ・財団法人こども未来財団 後援：厚生労働省(予定)
協力：東京家政大学(予定)・一般社団法人日本社会連帯機構・労働者協同組合連合会・NPO 法人協同総合研究所

日本社会を どう変えるべきなのか

—どのような考え、どのような実践が求められているのか—

2011年 大ディベート

■日時■ 2011年2月10日(木) 17:30~20:30

■会場■ 全電通ホール 〒171-0062
東京都千代田区神田駿河台3丁目6番地



辻 哲夫 氏 東京大学高齢社会総合研究機構 教授

超高齢社会の構造と社会のあるべき姿を考える

1971年東京大学法学部卒業後、厚生省（当時）に入省。老人福祉課長、国民健康保険課長、大臣官房審議官（医療保険、健康政策担当）、官房長、保険局長、厚生労働事務次官を経て、現在、東京大学高齢社会総合研究機構教授。厚生労働省在任中に医療制度改革に携わった。



山崎 章郎 氏 ケアタウン小平クリニック 院長

『病院で死ぬということ』から17年—真のコミュニティケアを問う

1947年福島県生まれ。千葉大学医学部卒業後、八日市場市民総合病院勤務。現在ケアタウン小平クリニックにて緩和ケア、終末期の在宅医療に取り組む。映画「病院で死ぬということ」の原作者



村上 智彦 氏 医療法人財団 夕張希望の杜 理事長

なぜ、私たちは破綻した夕張へ向かったか—そして今、確信として思うこと

1961年北海道生まれ。財団法人夕張希望の杜理事長。北海道瀬棚町の診療所勤務時に、肺炎球菌ワクチンの公費助成を日本で初めて実現する党予防医療に取り組み、老人医療費を大幅に削減。財政破綻のまぢ夕張に飛び込み、予防と在宅医療を重視し、新たな地域医療の再生に取り組む。



コーディネーター

永戸 祐三 (日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会理事長)

主催：

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会・協同総合研究所・日本高齢者生活協同組合

問い合わせ：東京都豊島区池袋 3-1-2 光文社ビル6F TEL/FAX：03-6907-8030 / 03-6907-8031
E-mail：sh-soumu@roukyou.gr.jp